

第145回

北大小児科 特別集談会

11月1日(月)

『米国スタンフォード大学小児科における
トランスレーショナル研究の実際』

スタンフォード大学 小児科 **佐藤 洋平** 先生

CAR-T細胞療法に代表される遺伝子細胞治療は、遺伝子導入やゲノム編集技術を含む様々な技術革新を経て、より身近な治療法として日本を含む多くの先進国で少しずつ普及し始めています。特に、治療法や長期予後が限定されるような難治性遺伝性疾患においては、根治的治療法になることが期待されています。多くの遺伝子細胞治療製剤が、前(非)臨床試験および早期臨床試験を経て、実用化に向けた開発競争が日々行われています。遺伝子細胞治療研究における最近の話題に関して触れた上で、スタンフォード大学小児科における遺伝子細胞治療研究の実際をIND (Investigational New Drug) 申請における実体験を踏まえて、概説させて頂こうと思います。

18:00～19:00(予定) Web(Cisco Webex)にて開催

どなたでもお気軽にどうぞ！ →→

パソコンでの参加用URLをご希望の方は、
下記アドレスにご連絡下さい

secretary-ped@med.hokudai.ac.jp



お問合せ・連絡先 小児科医局 (内5954)

